QuickTIPS

MUSE&オトレンズ・シナジー初回フィッティング手順

対象製品: Muse、オトレンズ・シナジー

補聴器の接続

1. Inspire X を起動します。
2. **接続開始**画面で**「プログラム装置表示」**をクリックし、適切なプログラマーを選択して**「OK」**をクリックします。
3. 適切なプログラミング装置を使用して補聴器を接続します。
   （プログラミング装置に関する詳細は、**「Inspire ヘルプ」**のケーブル＆コネクターガイドの項目をご参照下さい。）
   注意: 左耳として割り当てた補聴器を右耳用として変更する場合、**「割当て」**の**「右」**選択します。
4. 調整したい補聴器の**チェックボックス**にチェックを入れます。
5. 新しいフィッティングまたは現在の設定で補聴器のフォローアップを行う場合は**「補聴器の読込み」**を選択し、過去に保存された昔のフィッティング内容を補聴器に書き移す場合は**「履歴の読出し」**を選択して、**「開始」**を選択します。

Muse、オトレンズ・シナジーには、10000Hz までの周波数帯、最大 24 個のチャンネル・バンド数、専用の音楽メモリーが搭載されています。



接続開始

初期フィットとオートパス

新規の補聴器を調整すると、初期フィット画面が自動的に起動します。

1. **「音響オプション」**を選択後、**「OK」**をクリックします。
2. **「補聴器の経験」**の状況として当てはまる項目を選択します。
   （経験レベルについての詳細は、*QuickTIPS*：経験管理をご参照下さい。）
3. **「オートパス」**画面では、補聴器をユーザーに装着させて、できる限り静かな場所で**「開始」**をクリックします。
   注意： ユーザー不在の状態で初期フィットを行った場合、後からでも構わないので補聴器を必ずユーザーの耳に装着させて、再度「オートパス」などで初期化を行って下さい。
4. オートパスの結果画面を確認し、初期化に成功した場合は**「閉じる」**をクリックしてフィッティング画面に進みます。もし、初期化に失敗している項目がある場合は**「再度開始」**を選択します。



初期フィット

ユーザーコントロール

初めて Inspire X と接続した新規の補聴器は、初期フィット画面での選択後にユーザーコントロール設定の画面が表示されます。設定方法のデモ動画を見る場合は**「デモを見る」**をクリックします。**「再表示しない」**にチェックを入れて**「閉じる」**と次回以降はこの表示を省けます。
（詳細は、QuickTIPS シリーズ：ユーザーコントロールをご参照下さい。）

クイックフィットとファインチューニング

» 補聴器の大まかな音質調整には**「クイックフィット」**を選択します。

» チャンネル毎・入力レベル毎の音質調整には**「ファインチューニング」**を選択します。
（詳細は、*QuickTIPS* シリーズ：クイックフィット・ファインチューニングをご参照下さい。）



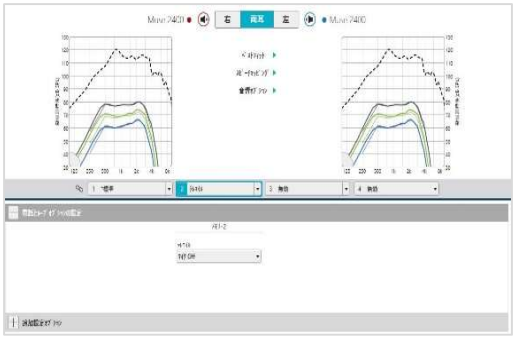
ファインチューニング

メモリー

1. 左側ナビゲーションメニューの**「メモリー」**を選択するか、画面中央にある**「メモリー名」**を選択します。
2. メモリー名の横の**「▼」**をクリックして、目的に合う環境メモリーを選択します。
3. **「音楽メモリー」**を選択する場合は、*QuickTIPS*：音楽メモリーをご参照ください。
4. **「テレコイル」「オートコイル」「ループメモリー」**を選択する場合、ナビゲーションメニューにある**「メモリー」**をクリックし、**「電話とループオプションの設定」**を選択してください。

   注意: テレコイル、オートコイル、ループメモリーを有効にした場合、**「マイクのオフセット」**を設定して下さい。

5. **「追加設定オプション」**では、メモリーのコピー・移動、メモリーの連結、電話リリースを設定することができます。



メモリー

お知らせ音

1. 左側ナビゲーションメニューの**「お知らせ音」**を選択します。
2. **「個別にお知らせ音を設定」**のチェックボックスの選択/解除にて、お知らせ音の有効/無効を設定します。

   注意: お知らせ音の音量は個別に調整することができます。

3. **「すべてのお知らせ音」**では、お知らせ音全体のトーンや、スピーチ/チャイムを±5dB ステップで増減することができます。
4. **「個別にお知らせ音の調整」**では、個別にお知らせ音の音量や音源の設定が可能です。**「実行」**をクリックすることで、補聴器からお知らせ音を再生してユーザーに音を確認したり、**「デモ」**をクリックすることで、PC のスピーカーからお知らせ音を再生してご家族にも音を確認してもらうことができます。



お知らせ音

その他の機能の調整

» その他、経験管理、周波数変換、環境管理、耳鳴治療音の調整についての詳細は、各 QuickTIPS をご参照下さい。

フィッティングサマリー

1. 左側ナビゲーションメニューの**「フィッティングサマリー」**を選択します。
2. 設定の変更が必要な場合は**「機能の名称」**/**「詳細」**を選択します。機能の名称はリンクになっており、選択するとそれぞれの調整画面に移動します。
3. **「印刷」**を選択すると、**「フィッティングレポート」**や**「デバイスガイド」**が作成されます。
4. **「保存」**を選択すると、現在のフィッティングが保存されます。



フィッティングサマリー